2　受験資格、試験期日、試験場所及び合格者の発表
⑴　筆記試験
受験資格　年令、性別、学歴、国籍その他の制限はない。
試験期日　平成22年８月29日（日）
㋐　外国語についての筆記試験：午前10時（日本時間。以下同じ。）から正午までの２時間
㋑　日本地理：午後２時から２時40分までの40分間
㋒　日本歴史：午後３時10分から３時50分までの40分間
㋓　産業、経済、政治及び文化に関する一般常識：午後４時20分から午後５時までの40分間
試験場所　札幌市、仙台市、東京都、名古屋市、京都府、広島市、福岡市、那覇市、ソウル市、北京市、香港特別行政区、台北市
試験場は、受験票交付の際に受験者に通知する。
㈱　外国語（記述式）試験については、ソウル市では韓国語のみ、北京市、香港特別行政区及び台北市では中国語のみ実施する。
合格者の発表　筆記試験の合格者は、平成22年11月12日（金）（予定）に、その受験番号を独立行政法人国際観光振興機構（以下「機構」という。）において掲示するとともに機構のホームページ上に掲載する。受験者には郵送で合否を通知する。なお、不合格者のうち一部の科目について合格点を得た者には郵送で当該科目を通知する。
⑵　口述試験
受験資格　筆記試験に合格した者
試験期日　英語　平成22年12月５日（日）
英語以外の外国語　平成22年12月12日（日）
試験場所　英語、中国語、韓国語については、東京都、京都府及び福岡市
英語、中国語、韓国語以外の外国語については、東京都
英語、中国語、韓国語受験者で筆記試験を東京都、京都府及び福岡市で受験した者は当該受験場所と同一の場所で口述試験を受験しなければならない。
試験場及び試験時間は、筆記試験の合格通知の際に当該合格者に通知する。
合格者の発表　口述試験の合格者は、平成23年２月４日（金）（予定）にその受験番号を機構において掲示するとともに機構のホームページ上に掲載する。受験者には郵送で試験の合否を通知する。
合格者には通訳案内士試験合格証書を、不合格者のうち筆記試験の合格者には筆記試験合格証書をそれぞれ交付する。
3　受験手続
⑴　受験願書受付期間及び受付時間
平成22年５月17日（月）から同年６月18日（金）まで（ただし、土曜、日曜を除く。）とし、受付時間は、午前10時から午後６時までとする。なお、受験願書を郵送する場合は、６月18日（金）消印有効とする。電子申請の受付期間は、５月17日（月）午前10時から６月18日（金）午後６時までとし、機構のホームページ上に設ける申請用のアドレスからアクセスできることとする。
⑵　受験手数料
受験手数料8,700円（二カ国語受験の場合は17,400円）を郵便振替又は銀行（機構が指定する銀行）振込により機構に納入しなければならない。ただし、電子申請の場合には、クレジットカード決済又はコンビニエンス・ストアでの払込みとする。なお、受験手数料は受理した後は返還しない。
⑶　受験願書提出先
株式会社ＩＣＳコンベンションデザイン内通訳案内士試験係　（〒101―8449 東京都千代田区猿楽町１－５―18　千代田ビル５階、電話番号　03―3219―3510）
4　試験の一部免除
⑴　平成21年度通訳案内士試験（以下「前年度試験」という。）のうち、筆記試験に合格し、口述試験に不合格であった者及び口述試験を受験しなかった者については、平成22年度通訳案内士試験（以下「当年度試験」という。）のうち筆記試験を願いにより免除する。
⑵　前年度試験の筆記試験のうち一部の科目について合格点を得た者については、当該科目を願いにより免除する。
⑶　以前に他の外国語による通訳案内士（業）試験に合格した者については、当年度試験のうち筆記試験の㋑日本地理、㋒日本歴史及び㋓産業、経済、政治及び文化に関する一般常識を願いにより免除する。
⑷　総合及び国内旅行業務取扱管理者試験に合格した者（一般及び国内旅行業務取扱主任者試験合格者並びに一般及び国内旅行業務取扱主任者認定証保有者も含む。）については、当年度試験のうち筆記試験の㋑日本地理を願いにより免除する。
⑸　財団法人日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定の１級に合格した者については、当年度試験のうち筆記試験の㋐外国語（英語に限る。）を願いにより免除する。
⑹　歴史能力検定協会が実施する歴史能力検定の日本史１級又は日本史２級に合格した者については、当年度試験のうち筆記試験の㋒日本歴史を願いにより免除する。
⑺　一の外国語による地域限定通訳案内士試験に合格した者が、当該外国語による通訳案内士試験を受験する場合は、当年度試験のうち筆記試験の㋐外国語を願いにより免除する。
⑻　前年度に一の外国語による地域限定通訳案内士試験の外国語筆記試験について合格基準点に達した者が当年度試験のうち筆記試験の当該外国語を受験する場合は、㋐外国語筆記試験を願いにより免除する。
⑼　⑴から⑻までの免除を受けようとする者は、受験願書にその旨を記載し、⑷から⑹までの免除については、当該免除者であることを証する書面を添付しなければならない。ただし前年度及びそれ以前の試験を受験する際に既に同様の書面を提出済みの者は添付を省略することができる。
5　受験願書用紙及び試験施行要領の交付
受験願書用紙及び試験施行要領は、次の場所で交付するほか、機構のホームページから試験施行要領をダウンロードできる措置を講じ、受験の電子申請も受け付ける。
交付場所：
・㈱ＩＣＳコンベンションデザイン内通訳案内士試験係
・㈱国際観光振興機構総務部通訳案内士試験係及び同機構のツーリスト・インフォメーション・センター
・各都道府県観光担当課
・㈳日本観光通訳協会
・㈿全日本通訳案内士連盟
郵便により請求する場合は、住所、氏名及び郵便番号を記載して、140円切手を貼った返信用封筒〈角形２号、長さ33.2㎝×幅24㎝〉を同封して、株式会社ＩＣＳコンベンションデザイン内通訳案内士試験係宛て請求すること。外国居住者については料金着払い扱いにより受験願書の請求を受け付ける。

平成22年度防衛省職員採用Ⅲ種試験公告

平成22年度防衛省職員採用Ⅲ種試験について次のとおり告知する。
平成22年５月17日　防　衛　省
1　試験の名称　平成22年度防衛省職員採用Ⅲ種試験　（行政職俸給表㈠１級の係員を採用するための試験）
2　試験区分　一般事務、電気、機械、土木及び建築
3　対象官職　行政職俸給表㈠１級の官職
4　受験資格　平成元年４月２日から平成５年４月１日までに生まれた者
ただし、日本の国籍を有しない者及び自衛隊法（昭和29年法律第165号）第38条第１項の規定に該当する者は、受験することができない。
5　第１次試験
⑴　試験種目
ア　一般事務　教養試験（多枝選択式）、適性試験（多枝選択式）及び作文試験
イ　電気、機械、土木及び建築　教養試験（多枝選択式）及び専門試験（多枝選択式）（専門試験（多枝選択式）の出題分野は、別記のとおりとする。）
⑵　試験の実施日　平成22年９月26日（日）
⑶　試験地　札幌市、旭川市、帯広市、青森市、八戸市、仙台市、秋田市、山形市、郡山市、ひたちなか市、宇都宮市、さいたま市、所沢市、熊谷市、松戸市、木更津市、東京都区内、立川市、横浜市、新発田市、上越市、松本市、静岡市、浜松市、各務原市、名古屋市、金沢市、舞鶴市、大阪市、米子市、広島市、防府市、善通寺市、松山市、福岡市、佐世保市、別府市、熊本市、鹿屋市及び嘉手納町
なお、試験場は、原則として上記都市内に設けるが、事情により上記都市周辺に設ける場合もある。